



覚醒剤等薬物乱用の防止

人生を狂わす「一度だけ」



覚せい剤、大麻、麻薬等の薬物は、「一度のつもり」で使用したとしても、薬物の依存性や耐性が身体に生じてしまい、使用する薬物の量や回数が増える乱用状態に陥り、自分の意志ではやめることができなくなります。

また、薬物の乱用は、脳の発達に悪い影響を与えるだけでなく、精神や身体をボロボロにし、時として、幻覚や妄想が凶悪犯罪や事故を引き起こすこともあります。

薬物は、「一緒にやってみよう」「今なら手に入られる」など、身近な人に誘われたのをきっかけに、「興味があったから」「仲間外れにされたくない」「興味があつたから」などの自身の安易な考えや「中毒性がないと聞いたから」といった誤った情報を信じてしまい、乱用に至るケースが多く見受けられます。自分自身や大切な人を守るためにも、正しい知識を持ち、薬物乱用の誘惑に対しては断る勇気と強い態度で臨みましょう。



日本に滞在する来日外国人の中には不法就労を行い、その一部は近年深刻化している国際組織犯罪等への関与を深めていると思われます。

不法滞在者や働くことが出来ない在留資格の外国人を雇用したり、密航等を手助けした場合などは処罰されます。

吉田島事件簿

〆開成町内で無施錠の自転車が盗難被害に遭うケースが増えています。駐輪場はもちろん、自宅敷地内や短時間しか駐輪しない場合でも確実に施錠をしてください。



詐欺にご用心

パソコンを操作中、突然、ウイルスに感染したと表示され、画面に表示された連絡先に電話をすると「ウイルスに感染しています。修理するので費用を払ってください。」などと言つて、コンビニエンスストアで電子マネーを購入させ、電子マネーの利用権利をだまし取る、架空料金請求詐欺の手口が全国的に増えています。

表示された連絡先には絶対に電話を掛けないでください。



二輪車交通事故防止

本年3月末現在、県内の二輪車に関係する交通事故の発生件数及び死傷者数は、いずれも前年に比べて増加しています。

スピードを控えめに、心にゆとりをもつて運転しましょう。

また、夜間は明るい服装を心掛け、反射材等を活用して、事故防止に務めてください。



編集後記

神奈川県内では、二輪車や高齢者が関係した事故が増加傾向にあります。

「自転車も乗れば車の仲間入り」交通规则を守って事故のないようにしましょう。